

特集

『ライブラリーメイトが選んだ図書館の本』

今年度、私たちはテーマを決めて、図書館の本を展示・紹介してきました。利用者の皆さんが、新たな本と出会う機会になりましたら、嬉しく思います。

それでは、2013年の特集を振り返ってみましょう…

『新入生に薦める大学生活 スタートの本』

ようこそ学院大へ！ 大学生活のスタートはこの1冊からはじめましょう！

『ディズニー特集』

みんな大好きディズニー！
色々なことを教えてくれる
と思います。

『映画、ドラマになった 小説・話題の本』

実写とはまた違った趣で
楽しめますよ。

『クラシック音楽と洋書』

遠いようで身近なクラシックと、英語だけど親しみやすい作品を紹介しました。

『本学教員著作図書』

本学の先生が著された本を紹介しました。授業に役立つこと間違いなし！

『心に残るフレーズが 印象的な図書』

読めばハートが暖かくなる
作品をオススメしました。

『漫画で学ぼう』

マンガで学ぶ専門知識！
難しい内容でもこれなら
理解しやすいかも？

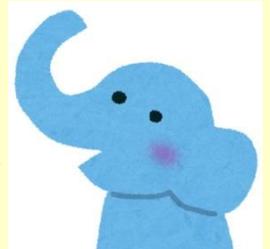
『異文化に触れよう』

日本とは異なる文化を持つ
世界の国々。その扉を開いて
みませんか？

『浜松地域の歴史・ 伝統・文化』

身近な浜松のこと、皆さんは
どこまで知っていますか？

テーマに掲げた関連図書を、私たちメンバーが交替で紹介してきました。展示したそれぞれの図書については、図書館カウンターまでお気軽にお尋ねください。



***** 学園祭の記録 *****

今回、わたしたちは学園祭で**図書**の展示と**ブックカフェ**を開きました。特に日曜日に行った『Book café ～本の広場～』はお子様連れのお客様に好評で、両日とも大成功でした。

土曜日に行った**図書**の展示では、わたしたちが作成した本『しあわせずかん』をメインに、各自が持ち寄ったおすすめ本を展示しました。今年も学園祭に出店しようと企画を考え、夏休み過ぎから本格的にメンバーが協力して作品や装飾の準備をはじめ、無事展示を行うことが出来ました。

(右の写真は前日の準備が完了したところ)



日曜日に行った『Book café ～本の広場～』では、ホットケーキと飲み物をお客様に提供しました。さらに、子どもが遊べる読書スペースを設け、お子様連れでも安心して利用できるように配慮しました。子どもと触れ合う機会ができ、私たちも大変勉強になりました。

☆☆☆『しあわせずかん』とは？

ライブラリーメイトとして学園祭へ参加するにあたり、何か本に関係するテーマで考えよう！ということになり、皆で本を作る案が出ました。学園祭のテーマが、「アルストロメリア～幸福な日々がいつまでも続きますように～」でしたので、まず自分の幸せをテーマに、メンバーが自由な発想で作品を描き上げました。こうして出来上がったものをまとめ編集した1冊がこの本です。



◆ 本学教員著作図書

★ 本年度 図書館にご寄贈いただきました。

- ・石田勝義先生：『あたらしい言語障害のみかた・治療・教育』（古今社）
- ・岩見良憲先生：『特別支援学校教員という仕事・生き方』（学事出版）
- ・戸田昭直先生：『相手がわかるように教える技術 改訂版』（中経出版）

*** ライブラリー・メイト おすすめ本 ***

「Alice in wonderland」

(ルイス・キャロル)

「不思議の国のアリス」、英語で書いてある作品です。興味のある方は、是非手に取って読んでみてください。

子コミ1年 小澤 加菜珠

「おやすみラフマニノフ」

(中山七里)

事件の始まりは、言えた名楽器「ストラディバリウス」…音楽に詳しくない人でも楽しめるミステリー小説です。

子コミ1年 切戸 実虹

「B・D・T〔掟の街〕」

(大沢在昌)

スラム化した東京で繰り広げられる、一人の探偵の物語。近未来ハードボイルドアクション小説、ご覧あれ！

地共1年 高橋 夏未

「青の炎」

(貴志祐介)

私の読書人生を切り開いてくれた本です。目をつぶってしまいそうな場面もありますが、そこから感動のラストを描く作者の技量に感服します。

地共1年 丹 元希

プロジェクトX 挑戦者たち

(NHK出版)

プロジェクトに携わった人たちの苦戦を描いた文庫本です。活字が苦手な人はコミック版があるので、ぜひ読んでみてください。

地共2年 山田 真也

「少年は2度太陽を殺す」

(和泉朱希)

私が小説を読み始めるきっかけとなった本です。不思議な笛の謎をめぐる冒険がとても心に残る物語です。ぜひ手に取ってください。

地共1年 渡辺 里利香

「光とともに…～自閉症を抱えて～」

(戸部けいこ)

「自閉症」を知っていますか？障がいに対する差別的、閉鎖的な考え。自閉症児の息子と家族の葛藤や日常生活の大変さを描いた物語です。障がいに対しての理解を静かに伝えてくれるおすすめの漫画です。

地共2年 倉田 佳鈴美

「ステップファザー・ステップ」

(宮部みゆき)

中学生の双子の父親代わりをする羽目になったプロの泥棒にふりかかる、様々な事件をコメディタッチに描いていて、面白いです！

地共2年 小林 智恵

「生贄のジレンマ」

(土橋真二郎)

「あなた達は今から三時間後に全員死にます。生き残る方法はーそれは生贄を告げることです。」全員揃う教室の中、何人からか不可解なメッセージが告げられる。

地共2年 齋藤 詩歩

「思い出のとき修理します。」

(谷 瑞恵)

全体を通しての優しく暖かい雰囲気が大好きです。思い出は修理できるの？と思った方はぜひご一読を。

地共3年 戸田 詩織

「笑顔の花が咲く」

(トレーシー・コーデロイ)

この知ったきっかけは、静岡新聞の掲載を見たことです。表紙のシロクマの幸せそうな温かい笑顔に引き付けられました。一番大切なものを教えてくれる一冊だと感じます。

子コミ3年 天野 小春

「アルジャーノンに花束を」

(ダニエル・キイス)

テレビドラマをきっかけにこの作品と出会いました。胸が締め付けられるほど切なく、衝撃を受けた物語です。

子コミ3年 増田 美月

「本気になれないニ死満塁？」

(賀東招二)

同出版社から出ている「フルメタル・パニック」シリーズの短編二巻ですが、ギャグなので本編を見なくても大丈夫だと思います。息抜きとして最適な一冊です。

地共4年 池谷 京子

おすすめ本は図書館で所蔵しています*

ぜひ一度手に取ってみてください！

短大部 「ライブラリーメイト」 memory

私たちは図書館を盛り上げるための活動をしています。
メンバーは、1、2年生合わせて8人です。

★活動内容は…

実習向けや季節の絵本を
その時季にあった飾り付けをして展示。
皆さんに、たくさんの絵本を知っていただくお手伝いです。

また、手遊びや読み語りの練習を行い、
その成果を、子どもたちを招いてのお話会で発表します。



★定例会

週に1回、住吉図書館に集まり
一緒に楽しく活動しています。

★12月には付属幼稚園のおともだちに来て頂いて、お話会を開きました。
クリスマスにちなんだ絵本の読み語り、手遊びやペープサート、
エプロンシアターを披露しました！
みんなに喜んでもらうことができ、大成功！！

